

令和6年度 新津中学校 学校評価(2学期末)

1 令和6年度の取組

学校教育目標 「志をもち 自分らしさを発揮できる生徒」	
知：主体的に学び合う生徒	徳：豊かな心で自他を大切にする生徒
体：たくましい心身をもつ生徒	
学校運営基本方針（新津中の特色として、特に力を入れたい取組）	
1 LL(Life Learning)学習を軸とした教育活動 キャリア教育を通じて育てる基礎的・汎用的能力 「い」どむ力、「つ」なぐ力、「き」づく力、「え」がく力を身に付ける教育活動の展開 特に「つ」なぐ力を意識した場面設定 → 人との関わりを通じた自分らしさの発見・育成とリーダーの育成	
2 いのちの教育 6月、10月『いのちについて考える月間』 ①6月:いじめを生まない学校風土といじめ対応に強い学校組織 校長講話「他者を思いやる心 ～いじめと向き合うことを通して～」 今年度のいじめ認知件数…58件（12月末）※昨年度同時期は7件（年間では31件） ②10月:いのちの尊厳について考える 卒業生である藤田健吾さん追悼…藤田健吾さん保護者による講話 先生方からの「いのちのメッセージ」を紹介・掲示	
3 SDG s の推進活動 ①SDG s に関連した校長講話 ②教職員の働き方改革	

2 自己評価

左:1学期末 右:2学期末

○生徒の評価 ■小中共通項目		そう思う		やや思う		あまり思わない		思わない	
■夢や目標がある	生	52	50	31	31	14	14	4	5
■授業で学力がついている	生	49	44	42	42	9	12	0	2
クラスに安心している	生	59	59	31	31	8	7	2	3
行事・部活に積極的に取り組んでいる	生	74	72	22	24	3	2	1	1
信頼できる友達がいる	生	82	75	14	19	4	3	0	2
■進んであいさつができています	生	55	56	38	34	5	7	1	3
■交通ルールを守っている	生	71	72	27	25	1	2	0	0
先生は熱心に指導してくれる	生	76	70	21	28	3	2	1	0
○保護者の評価 ■小中共通項目		そう思う		やや思う		あまり思わない		思わない	
■夢や目標がある	保	22	26	40	40	21	21	4	3
■授業で学力がついている	保	14	18	44	41	21	23	7	9
クラスに安心している	保	37	40	42	41	6	7	1	2
行事・部活に積極的に取り組んでいる	保	53	54	29	30	3	5	1	1
信頼できる友達がいる	保	54	53	27	32	4	4	1	2
■進んであいさつができています	保	27	31	45	43	13	15	2	2
■交通ルールを守っている	保	43	48	41	39	2	3	1	1
先生は熱心に指導してくれる	保	44	46	40	41	2	4	0	0
○教職員の評価 ■小中共通項目		そう思う		やや思う		あまり思わない		思わない	
■夢や目標がある	教	4	0	70	86	26	14	0	0
■授業で学力がついている	教	0	0	68	86	32	14	0	0
クラスに安心している	教	18	14	77	77	5	9	0	0
行事・部活に積極的に取り組んでいる	教	26	24	65	71	9	5	0	0
信頼できる友達がいる	教	9	14	77	71	14	14	0	0
■進んであいさつができています	教	0	9	23	27	68	55	9	9
■交通ルールを守っている	教	5	0	55	67	41	29	0	5
先生は熱心に指導してくれる	教	26	32	65	64	9	5	0	0

左:1学期末 右:2学期末 1年生は1学期末のみ

キャリアアンケート

		いつもしている	時々している	あまりしていない	ほとんどしていない
①自分を高められるように、何かに挑戦していますか。	1年	29	60	9	2
	2年	30	64	6	1
	3年	38	34	52	8
②何かをするとき、計画を立てたり、やり方を考えたりしていますか。	1年	30	48	17	4
	2年	44	46	10	1
	3年	49	38	42	11
③失敗したときに、次はどうしたら成功するかを考えていますか。	1年	48	36	11	4
	2年	53	41	5	1
	3年	70	56	24	39
④相手に分かりやすく自分の考えを伝えられていますか。	1年	37	53	8	2
	2年	51	42	7	0
	3年	51	48	43	47
⑤相手が伝えようとしていることは何かを考えながら話を聞いていますか。	1年	59	33	9	0
	2年	72	22	4	2
	3年	81	72	17	26
⑥係活動・生徒会活動に協力して取り組んでいますか。	1年	66	28	6	0
	2年	68	29	4	0
	3年	70	65	20	33
⑦自分のよさを実感しながら生活していますか。	1年	30	45	16	9
	2年	30	48	19	4
	3年	30	39	48	42
⑧自分には何ができるかを考えて、進んで行動していますか。	1年	52	41	7	1
	2年	43	52	5	0
	3年	49	39	42	51
⑨苦手なことに対しても、あきらめずに頑張っていますか。	1年	42	41	10	6
	2年	50	42	7	2
	3年	49	43	44	42
⑩学校で学んでいることが、将来に役立つと考えていますか。	1年	51	39	9	1
	2年	57	37	4	2
	3年	53	52	44	38
⑪将来の夢をかなえるために、自分なりの目標を立てていますか。	1年	57	24	13	6
	2年	42	42	15	1
	3年	43	42	33	46
⑫将来の夢をかなえるために、生活や勉強の仕方を工夫していますか。	1年	32	44	16	8
	2年	35	44	19	2
	3年	39	38	38	45

3 分析・考察 及び 改善策(案)

【良い結果（主なポイント）】

- ①「夢や目標がある」…『そう思う』が半数以上を占める。将来の職業だけではなく、それぞれの生き方や理想の姿を思い描くことができていることの表われと捉える。
- ②「信頼できる友達がいる」…8割近い生徒が『そう思う』と回答している。生徒にとって様々な活動に取り組む上でのモチベーションに繋がる重要な要素である。
- ③「先生が熱心に指導してくれる」…生徒、保護者ともに高い数値。特に生徒は7割以上が先生の指導を非常に良く思っている。これは、教師と生徒の信頼関係を表している。生徒が気軽に相談できて、教師からの助言を素直に受け入れられる関係性の良さに繋がる。
- ④LL学習の充実…3年間を通じて、生徒に必要な資質能力を身に付けさせる教育的な効果が出ている。（キャ②・③・④・⑤）

【改善を要する内容】

- ①「進んであいさつができている」…生徒と教職員間で大きな隔たりがある。※相対的な評価対象が異なる
→生徒の課題意識が必要不可欠。生徒会活動や道徳教育、部活動指導等の効果が発揮される手立てを講じる。また、小中の指導を繋いでいくことが必要である。
- ②「授業で学力がついている」…特に教員評価が低い。
→生徒が実感している達成度と教職員とで差が大きい。教職員側が感じている“伸びしろ”をどのように伸ばしていくことができるかが鍵。授業改善や家庭での学習習慣の確立など、教職員研修と共に家庭と連携した取組が必要。また、次年度よりICTを活用した授業改善を進めていく。
- ③「行事・部活に積極的に取り組んでいる」…生徒、保護者、教職員が非常に肯定的に評価している。

4 学校運営協議会による学校関係者評価

- ・生徒への興味・関心を事前アンケートで把握し、講師の選定に生かしてしていくことがこどもの学びに繋がる。
- ・部活動の地域移行については、保護者やこどもが不安にならないよう方針を示すことが必要。運営団体をどこに委ねるかが重要。
- ・いじめ認知件数が増えていることを肯定的に捉え、評価するのは良いこと。迅速に対応できる組織の構築を進めてほしい。